

りゅうぎんユイマール助成会 ナイスハートバザールに協賛



ナイスハートバザールオープニングセレモニー



販売を手伝うりゅうぎんのボランティアスタッフ

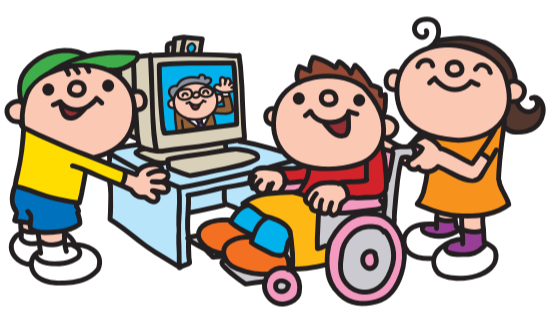
りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、今年も昨年に引き続き、小規模作業所の自立を促す事業に力を入れています。二〇〇六年十一月二十五、二十六日の両日は、琉球ジャスコ南風原店で開催された「ナイスハートバザール」に協賛企業として全面的に支援しました。

同バザールは、授産施設および小規模福祉作業所の製品を展示販売することで、障害者の自立支援を目指しています。当日は、当行の職員がボランティア・スタッフとして、販売イベントを裏方として手伝ったほか、会場ステージのコンサートイベントにも職員のパバンド(Hy1124)が参加するなど、積極的なボランティア活動を展開しました。(りゅうぎんユイマール助成会は【解説】参照)

【解説】

りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、一九九三年に琉球銀行の創立四十五周年を記念して設立した基金です。毎年、役員に寄付金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役員から一千万円の募金が集まった場合、銀行も一千万円を拠出し、合計二千万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、二百四十一件、一億二百五十四万円となりました。(二〇〇六年十二月現在)



琉球銀行は、二〇〇六年十一月二日に第九回公益信託「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の助成先十三団体に助成金を授与しました。本基金は、県外在住の源河朝明氏が故郷沖縄の福祉活動に役立てるため基金を設立したもので、琉球銀行は信託契約代理店としてその運営に携わっています。

本年度は、障害者の生活自立および就労支援を目的とした団体や、路上生活者への就労訓練・就労支援団体、母乳育児を支援する団体、難聴福祉を考える団体、離島の老人福祉・生きがい作りを推進する団体など、十三団体に総額四百九十万円を助成しました。(公益信託は【解説】参照)

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、一九九六年十二月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

【解説】

公益信託

琉球銀行は、公益信託代理店として、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」「宇流麻福祉基金」の運営に携わっています。「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、一九九八年十月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉にかかわる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」 十三団体に四百九十万円を助成

公益信託



源河朝明記念那覇市社会福祉基金助成金授与式

第九回 公益信託 「源河朝明記念那覇市 社会福祉基金」助成先 プロミスキーパズ

代表 山内 昌良 様

今回は公益信託「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の助成、おめでとうございませう。早速ですが、NPOプロミスキーパズの紹介をお願いします。

私も七年前の一九九九年から、毎週金曜日に奥武山公園と松山公園、土曜日に与儀公園の公園清掃をしながら、路上生活者へ食事を提供するほか、病気の方を病院に連れて行くなど、さまざまな支援活動を展開してきました。

今回の助成申請のきっかけは何ですか？

設立当初から、路上生活者の中でも社会復帰に意欲的な人々に、衣食住を提供してきました。あわせて共同生活を送りながら就職に向けてのリハビリを実施し、適性を見た上で、各人に応じた職種を紹介しています。

就職に向けたリハビリ作業としては、各企業や団地などにプロミスキーパズ専用の空き缶回収用ドラム缶を設置させていただき、空き缶の回収とゴミの分別作業を実施していただきました。ところが、その空き缶回収専用のドラム缶の制作費用が不足困っていましたので、今回、助成金を申請させていただきました。

現在何名ぐらいの方を支援しているのでしょうか？
約四十名の方に対して衣食住を提供しています。私どもの調査では、沖縄県内に約百五十名の路上生活者が確認されています。そうした方々に対し、公園での食事提供や相談などを通して支援を実践していきます。

助成を受けて皆さまの反応はどうでしたか？

助成が決定したという連絡を受けて、一番喜んだのは、やはりリハビリ中の皆さんです。決定した日は全員とても喜び、助成金の授与式には全員で参加すると張り切っていました。また、うれしいことに、空き缶回収用ドラム缶を設置しても良いという企業や団体、団地などが多く、空き缶回収用ドラム缶の設置が追いつかない状況です。

今回の助成金を活用して、空き缶回収用ドラム缶をさらに設置し、就労へ向けたリハビリ作業を拡大するとともに、最終的には、路上生活者の就職という目標につなげたいと思います。今年に入り、四人の方の就職が決まりました。これまでも七人が就職しており、今後も継続して支援を続けていきます。

最後になりますが、今回の助成はとても助かり、また、私どもの団体について心強い励みになりました。基金を



分別作業をする皆さん

設立された源河朝明様および運営委員会の先生方、委託先的那覇市、事務局の琉球銀行の皆さまに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

プロミスキーパズ
浦添市大平四番地
電話〇九八(八七四)〇〇三